

一斉学習 教師説明型

実践タイトル プレゼンテーションソフトウェアで色相の明度を説明する

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

PC

・1年次に学習した色彩の復習を資料を提示し問答することで、知識の定着を図る。

PC教材

・プレゼンテーションソフトウェアで、カラーの資料をグレースケールの色調にして、明度をわかりやすく説明する。

参考にしてほしいポイント

- ・1年次の復習を、プレゼンテーションソフトウェアと問答で、フラッシュカードのように進めることができる。
- ・カラーの資料を白黒画像にすることで、目でわかりやすく「明度」の意味を理解することができる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入	0	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・自作PC教材(プレゼンテーションソフトウェア)(写真1)
	15	
展開	15	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン・実物投影機 ・生徒が記入したワークシートの静止画(写真2)
	45	
まとめ	40	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン・実物投影機 ・生徒が記入したワークシートの静止画(写真3)
	50	



写真1: 色相環での復習を行う



写真2: スクリーンのスライドショーで確認しながら、作業を進める



写真3: 他の人の配色を共有する

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・カラー画像を白黒コピーしたら…という発想を湧き起こすような資料提供になった。
- ・作業中に確認したいことを、自動スライドショーで確認することができた。
- ・色相環などの資料を一問一答できるように用意したので、テンポよく復習をすることができた。

活用効果

評価の観点

・発想や構想の能力

具体的変容

・3種類の立方体を、光の効果や背景との組み合わせを考えて構成することができた。

実践の手応え

- ・明度という尺度を考える際に、「白黒コピーをしたときを想像する」というキーワードをもとに説明しつつ、実際に同じものを白黒画像で見せることで、視覚に効果的な説明をすることができた。